

本教材による研修の範囲

日本薬学会の薬学教育カリキュラムを検討する協議会作成「薬学教育モデル・コアカリキュラム」および薬学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議作成「実務実習モデル・コアカリキュラム」より、4年制課程で未履修の部分を抽出し、そのうち特に重要と考えられる項目を研修の範囲としました。下記の通り、薬学教育モデル・コアカリキュラム165項目、病院実習モデル・コアカリキュラム132項目、薬局実習モデル・コアカリキュラム57項目が挙げられています。

薬学教育モデル・コアカリキュラム

A 全学年を通して：ヒューマニズムについて学ぶ

- (1) 生と死：【生命の尊厳】【医療の目的】【先進医療と生命倫理】
- (2) 医療の担い手としての心構え：【社会の期待】【医療行為に関わる心構え】
【自己学習・生涯学習】
- (3) 信頼関係の確立を目指して：【コミュニケーション】【相手の気持ちに配慮する】
【患者の気持ちに配慮する】【チームワーク】【地域社会の人々との信頼関係】

C13 薬の効くプロセス

- (5) 薬物動態の解析：【薬動学】【TDM】

C14 薬物治療

- (1) 体の変化を知る：【症候】【臨床検査値】
- (2) 疾患と薬物治療（心臓疾患等）：【薬物治療の位置づけ】【心臓・血管系の疾患】
【血液・造血管の疾患】【消化器系疾患】
- (3) 疾患と薬物治療（腎臓疾患等）：【腎臓・尿路の疾患】【生殖器疾患】
【呼吸器・胸部の疾患】【内分泌疾患】【代謝性疾患】【神経・筋の疾患】
- (4) 疾患と薬物治療（精神疾患等）：【精神疾患】【耳鼻咽喉の疾患】【皮膚疾患】
【眼疾患】【骨関節の疾患】【アレルギー・免疫疾患】【移植医療】
【緩和ケアと長期療養】
- (5) 病原微生物・悪性新生物と戦う：【抗菌薬】【抗原虫・寄生虫薬】【抗真菌薬】
【抗ウイルス薬】【抗悪性腫瘍薬】

C15 薬物治療に役立つ情報

- (1) 医薬品情報：【データベース】【EBM】
- (2) 患者情報：【情報と情報源】【収集・評価・管理】
- (3) テーラーメイド薬物治療を目指して：【遺伝的素因】【年齢的要因】
【生理的要因】【合併症】【投与計画】

C17 医薬品の開発と生産

- (1) 医薬品開発と生産の流れ：【医薬品開発のコンセプト】【医薬品市場と開発すべき医薬品】
【医薬品の承認】【規範】【薬害】
- (4) 治験：【治験の意義と業務】【治験における薬剤師の役割】

- (5) バイオスタティスティックス：【生物統計の基礎】【臨床への応用】

C18 薬学と社会

- (1) 薬剤師を取り巻く法律と制度：【医療の担い手としての使命】【法律と制度】
- (2) 社会保障制度と薬剤経済：【薬剤経済】【社会保障制度】【医療保険】
- (3) コミュニティーファーマシー：【地域薬局の役割】【医薬分業】
【薬局の業務運営】【OTC薬・セルフメディケーション】

病院実習モデル・コアカリキュラム

- (1) 病院調剤を実践する：【計数・計量調剤】【服薬指導】【注射剤調剤】【安全対策】
- (2) 医薬品を動かす・確保する：【特別な配慮を要する医薬品】
- (3) 情報を正しく使う：【病院での医薬品情報】【情報提供】
- (4) ベッドサイドで学ぶ：【医療チームへの参加】【薬剤管理指導業務】
【処方支援への関与】
- (5) 薬剤を造る・調べる：【院内で調製する製剤】【薬物モニタリング】
【中毒への貢献】
- (6) 医療人としての薬剤師

薬局実習モデル・コアカリキュラム

- (1) 薬局アイテムと管理：【薬局アイテムの流れ】【薬局製剤】
【薬局アイテムの管理と保存】【特別な配慮を要する医薬品】
- (2) 情報のアクセスと活用：【薬剤師の心構え】【情報の入手と加工】【情報の提供】
- (3) 薬局調剤を実践する：【保険調剤業務の全体の流れ】【処方せんの受付】
【処方せんの鑑査と疑義照会】【計数・計量調剤】【計数・計量調剤の鑑査】
【服薬指導の基礎】【服薬指導入門実習】【服薬指導実践実習】
【調剤録と処方せんの保存・管理】【調剤報酬】【安全対策】
- (4) 薬局カウンターで一般用医薬品を学ぶ：【患者・顧客との接遇】
【一般用医薬品・医療用具・健康食品】【カウンター実習】
- (5) 地域で活躍する薬剤師：【在宅医療】【地域医療・地域福祉】
【災害時医療と薬剤師】【地域保健】